

●諮問事項について

1 住居表示の実施区域について

町名変更を実施しました昭和51年ごろ（昭和52年10月現在）の人口が10,189であった地区が、平成29年4月現在では人口18,283人、世帯数8,415世帯と約1.8倍に増加しており、その間も分筆・合筆が繰り返された結果、町名変更により解消された地番の混乱が、再び起こっている状況です。古くからある広い入谷地区で、この問題に早急に対処するため、対象を現在の入谷地区と明確にし、市民検討会及び市民アンケートを行い、住居表示実施に向け、事業を進めてまいりました。よって、現在の入谷地区1丁目から5丁目を住居表示の実施区域としたいと考えております。

2 実施区域内の住居表示の方法について

日本では、ほぼ全ての地域で街区方式が採用されており、座間市においても実施した全ての地区で街区方式による住居表示を採用しております。入谷地区でも他の地域との整合性や分かりやすさから、街区方式にて実施したいと考えております。

3 住居表示実施に伴う町割り及び町名変更について

町割りについては、座間市住居表示整備実施基準をもとに、小田急線、幹線道路で大きく割り、その後、従来の町界や現状を考慮し、小田急線より東側を4つ、西側を5つ、計9つに分割いたしました。

町名については、地域の方に愛着のある「入谷」の地名を残しつつ、5丁目だった入谷を9つに分割することから、住居表示の目的を十分果たすため、「入谷」の地名を従来のまま使用せず、実施前と実施後の相違を明確にし、小田急線より東側を「入谷東」、小田急線より西側を「入谷西」といたしました。

よって、小田急線より東側を市の中心から近い順（※）に入谷東一丁目から四丁目とし、小田急線より西側を市の中心から近い順に入谷西一丁目から五丁目としたいと考えております。

なお、「一丁目」の漢数字について、従来から座間市では、住居表示を実施した地区においては、漢数字を用いてきたことから、他との統一性、一貫性などを考慮し、入谷地区においても漢数字を利用したく、提案したものです。

※「座間市住居表示整備実施基準 1 町名の定め方 (3) (中略) 丁目の起点は原則として市の中心に最も近い地点として整然と配列し、(中略)」